

わたしたちの町

人 口 (男) ... 4,636人
(女) ... 5,000人
合 計 ... 9,636人
8 月中の転入 ... 25人
転出 ... 24人
世 帯 数 ... 2,310世帯

(8月末日住民登録調べ)

広 報

あいかわ

昭和56年 9月19日 第280号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 01867-2111

広報は、毎月15日に発行を予定
しています。中学校生徒会の委託
により、各家庭に配布されますの
で、届かない場合は役場総務課に
お知らせください。
広報へのニュースの提供や意見
等もおまちしています。

ぼくらにとって毎日が
“国際障害者年”



ゴールめざして全力

八月二十日、第十六回大野台の里親子運動会が開かれました。今年は、園生ら五百名、父兄、職員五百名の参加する大運動会になりました。
園生が演奏する行進曲にあわせて入場行進。参観者から、「世界中で最高の入場行進」と称讃の声が出るすばらしい行進風景に大きな拍手。障害にくじけず全力を尽くす選手たちに声援が飛びかいました。中でも親子で荷物を運ぶ「親子みこし競争」では参加する父兄が、生き生きとした子どもの姿に涙をうかべる場面も見られました。

大野台の里運動会

大野台の縦貫道路竣工

農免道路の完成祝う

大野台のほぼ中央を南北に走る「大野台縦断農道」が完成。森吉町鶴田・当町桃栄、弥栄、金沢、鷹巣町大向を結ぶこの道路は、大野台地区の農業振興をはじめ、鷹巣阿仁部の開発にも重要な道路とされています。
九月八日、工事に尽力された各関係者と三町の関係者が集まり、竣工祝賀会が開かれました。

地域開発の

基幹道路に

縦断道路ぞいには四百八十六戸の農家が点在。曲りが多くせまい昔ながらの道路しかありませんでした。昭和四十六年から農免農道合川地区工事として、弥栄・大向間に着工。農業の機械化、農産物の流通改善に対応するものとして、開通整備が待たれていました。

四十七年農免農道大野台地区工事として弥栄・鶴田間に着工。今春の全面舗装の完工までに、十年の歳月と五億五千八百万円余の経費が投じられました。

延長約十キロメートル。大野台内陸工業団地、総合福祉施設大野台の里、大野台ハイランドが近接し、農業振興とあわせて鷹巣阿仁部開発の基幹道路としての期待もふくらんでいます。また、大向・坊沢間の整備がすすむと国道一〇五号線のバイパス的な機能も果たすことになり

ます。竣工祝賀会に先立って、出席者はマイクロバスで現地を縦貫パレード。舗装農道のすばらしい走り心地に満足気の様子でした。

国・県はじめ多数の来賓が見守る中、大野台農業開発期成同盟会前事務局長木村仁兵衛氏(現教育長)と工事施行者に感謝状を贈呈。列席者は変貌(へんぼう)した大野台の姿を語りながら、一層の地域開発を誓い合っていました。

大自然の魅力を満喫できる、大野台の景観に加えて、三町では道路ぞいに桜の植樹を計画。

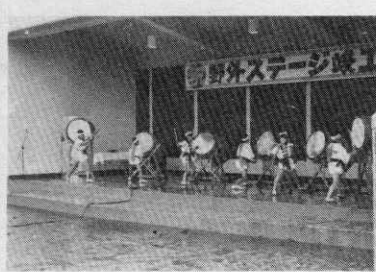
緑の広場に新施設

野外ステージ完成

大野台に新施設「野外ステージ」が完成しました。このステージは、大野台に野外音楽堂を建てよう、という青年たちの声の実のつたものです。

大野台野外ステージはハイランドの緑の広場を背景に建てられ、屋根付きの現代的なスタイルが好評です。町内外の青年たちは昨年、仮設舞台で野外音楽祭を開き、数千人の出入でにぎわいました。

八月二十三日、待望の竣工式にあわせて第二回音楽祭を開催。あいにくの台風のため音楽祭は前半で中断されましたが、会場には郷土芸能、小学校児童の芸能、ピアノ演奏、青年音楽グループなどがつめかけ、完成を喜びました。



写真「芝生の広場に、上杉の子とも太鼓の勇ましい音が響く」

十三夜

十月十日は体育の日。そして旧九月十三日十三夜です。
八月十五夜を芋明月、九月十三夜を豆明月と、供物にもついて呼ぶ名称があります。一方だけまつるの片月見といつて望ましくないとされています。
「お月さまへの供え物を女の人が食べると、お嫁さんになれない。こんな風習が伝えられている地方があります。これは、神様への供えをいただく巫女(みこ)さんは一生涯身とされていくところからきたものといわれています。お月さまへの供え物は盗んで食べてもよい。このような古い風習は、今の子どもたちには想像もできないことでしょう。
月の光を利用した、影絵遊びになつかしさを覚える人も多いことでしょう。食欲の秋。体力づくりの秋。そして「夢」を育てる秋でもあります。

キツネ

イヌ

トンビ



町長日記から

八月二十四日の夜、大野台ハイランドで国立市の子どもと合川町の子どもの交流会があった。今年は合川東小学校で体験交流をしたわけであるが、受け入れて下さった里親の方々(ごちそう)をとりそろえ、李伶子(りりし)とも会の駒踊りと上杉子とも大鼓で盛り上がった。
私がいさつしたのは、その会のはじめであるが「おぼんです」と言っ

たが反応が少ない。都会では「こんばんは」と言うのが普通で「おぼんです」はテレビの番組にあるような東北で適用するあいさつである。私はこのような単純な言葉の違いも、子どもたちが奇異に感じていると汲み取った。
あとで、国立市の親の会の方々からの札状に「国立市の子どものうちのなかに合川の子とも」と別れたくないと泣いた別離のシーンがあった。ほど、強烈にこの体験交流がその胸に刻みこまれたようです。」と書かれていた。
(義)

台風15号 住家24戸に被害

葉タバコに大きな痛手



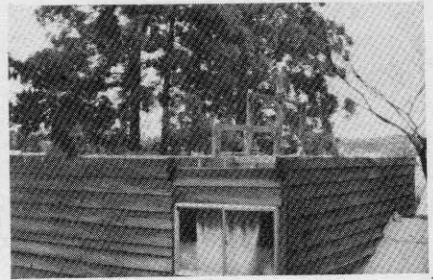
片屋根が吹き飛ばされた体育館（李岱）

県内は八月二十三日、瞬間最大風速が三十九・八メートルに及ぶ観測史上二番目の強風が吹き荒れました。当町では、大野台地区と阿仁川沿いの各地区で特に大きな被害を受けています。屋根のトタンがはがれたり、倒木による家屋の被害などがあり、つぎ、ビニールハウスはほぼ

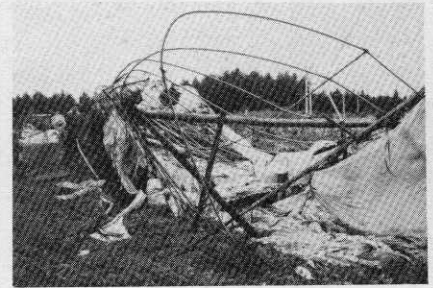
八月二十二、二十三日の両日の台風十五号による被害は、町内全域に及び被害額は一億七千万円余りと推計されています。特に、ビニールハウスの被害は大きく、葉タバコや園芸作物に大きな痛手を与えています。

被害額推計

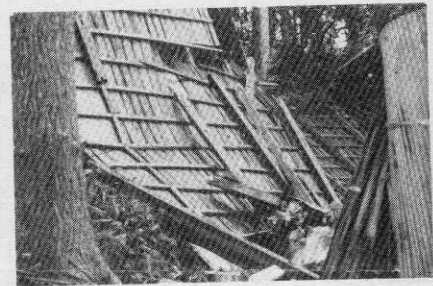
一億七千万円余りに



家の上半分がスッポリと持ち上げられた住家（李岱）



グニャグニャに曲がった支柱。葉タバコも水にぬれてしまいました。（大野台）



屋根部分がメチャメチャに（李岱）

全滅に近い被害。タバコ耕作農家では乾燥中の葉タバコごとハウスが吹き飛ばされるなど、無残な姿がいたるところで見うけられました。田んぼでは強風にあらわれて「不稔」のままの稲の倒伏が目立っています。開花期からの天候不順に重なる台風被害に、二年続きの「実のりない秋」の心配が、一層深刻になってきました。

建物被害では中学校校舎、町民体育館（中学校第二体育館）が屋根部分に大きな被害。一般住家では屋根部分がスッポリと取り去られた家もあり、台風の恐ろしさをまざまざと見せつけています。町では、学校施設など緊急的な復旧作業に着手。あわせて被害の救援策について関係機関に強力に働きかけています。台風による被害状況（被害額は推計）は次のとおりです。

- 被害額四百八十万円
道路・河川 七ヶ所
- 被害額三千六百九十万円
農地・農業施設 十二カ所
- 被害額 千九百万円
事業所・会社等 十一カ所
- 被害額 三百六十万円
農産物被害 一億七百万円
- 住家被害 二十四戸
（罹災者 九十三名）
- 非住家被害 十九戸
（八月二十四日現在）



思いがけない大木が倒れて道路が不通に（駅前）

タンク車・広報車を購入

広域消防 合川分署 初期消火に威力

鷹巣阿仁広域消防署合川分署に最新鋭の消防タンク車が配置されました。タンク車には二千五百リットルの水槽が内蔵されており、水なしの場所の火災でも、約五分間は放水が可能です。火災現場到着とほぼ同時に放水できるため、初期消火には大きな威力を発揮します。三階までのハシゴ、照明、無線装置などが備えつけられてお

火災に備えて 消防大会

郡市で優勝 県大会で三位に

八月九日、大館市で開かれた大館市北秋田支部消防訓練大会自動車ポンプ操法の部に、当町消防団からは機動分団（鈴木善雄分団長、駅前）が出場。参加八チームの中で、迅速さや正確さが最もすぐれているとして優勝チームに選ばれました。

交通安全運動

秋の交通安全運動の重点は次の四点です。

- 一、子供とお年寄り、身体の不自由な人の事故防止
- 二、自転車の安全

安全の原点
「家族会議」

わが家の交通安全

あなたの家庭では、交通安全について話し合うことがありませんか。話し合いの内容、話し合いの方法などをまとめて作文にしてください。

阿仁部四町村では、今年すでに三名が交通事故によって死亡。三十四名がケガをしています。当町では昨年に比べて、件数、死傷者とも大幅に減っていますが、このところ人身事故がいくつか発生しています。九月二十一日から十日間、秋の全国交通安全運動が開かれます。期間中、各家庭では交通安全旗を掲げて、「安全」の誓いを新たに、事故防止に努めましょう。

三、飲酒運転、無謀運転の防止、暴走族の追放
四、シートベルト着用、歩道の促進
四これらの運動をすすめるために、交通安全の各関係機関では「交通安全家族会議」と「家族のひとしずく」を推進することになっています。家庭での交通安全の徹底！これが家族を交通事故から守る基本です。日常の会話の中で家族みんなが「交通安全は自分自身の責任」であることをしっかりと自覚できるようにしましょう。あなたの「ひとしずく」が家族を守ります。

『お父さん 気をつけて』

西小学校で交通安全集会
合川西小学校では九月五日、全校児童交通安全の集いを開きました。

集いでは、児童が交通安全について体験発表。家族や友人の事故体験などが語られ、「安全」の大切さが訴えられていました。会場にはポスター、標語など児童の交通安全の作品がズラリ。「飛び出し防止」「道路で遊ばない」など児童自身の反省とともに、運転者や父兄に対して厳しく反省を求める作品も目につきました。



この大会は、各消防団の日頃の訓練ぶりを競い合い、いざという場合の消火活動に役立てようというもので、当消防団は昨年、同部門で準優勝。今年もキビキビした動作と正確なホースさばきで参観者から大きな拍手。安定した実力が認められて優勝し、県大会への出場資格を得ました。

八月十一日に開かれた県大会でも、日頃の訓練ぶりをじゅうぶんに発揮。三位に入賞し、応援にかけつけた消防関係者を喜ばせました。

第六回町産業文化祭 ポスター・ テーマを 募集します。

十一月七・八日に開かれる第六回産業文化祭のポスターとテーマを募集しています。多数の応募をお願いします。

内容：ポスター・テーマとも町をあらわし町の発展につながるもの

応募資格：合川町民または町内に勤務している人

締切り九月三十日（水）

表彰：特選各一 入選若干

応募：問い合わせ先 合川町公民館内産業文化祭事務局

こぞって参加
こぞって出品
第六回産業文化祭

記念講演に ご期待ください

産業文化祭事務局では、記念講演の講師の依頼をすすめています。

第一回 田中澄江さん
第二回 今福 祝氏
第三回 森 敦氏
第四回 三好京三氏
第五回 桂小金治氏

いずれも、参加者に深い感銘を与え、好評でした。

第六回記念講演にも、今まで同様、町民に幅広く親しまれ、町の発展と心の豊かさを育てる講師をと、準備を重ねています。「この人の話を聞きたい」、「この人の話がすばらしいかった」という、皆さんの声を文化祭事務局にお寄せ下さい。



金婚カップル19組 元気いっぱい『また、来年も』 町ことぶき大会



第十八回町ことぶき大会は八日、合川中学校で開かれました。大会では、参加者全員が元気な足どりでグラウンド二周の大道。お年寄りを大切にしている優良家庭として藤島テツさん（木戸石）金田ユミさん（摩当）を表彰。結婚五十年を迎えた十九の幸せを祝いました。

会場は元気な笑顔でいっぱい。講話「比内町 野呂金悦さん、おどり、民謡を楽しまながら、来月も必ず来るよ」と約束を交わしていました。

今年金婚式を迎えられた皆さんは次の御夫婦です。

上杉 永井常治・千代 工藤松五郎・ハル工藤勇一・サト佐藤勝蔵・ユミ 下杉 後藤金治・ナヨ 桜井興市・ミシエ 駅前 松岡鶴三・ミサ 李 信 成田末吉・とく羽根山 田中茂吉・とくミ 新田 目 齊藤徳蔵・キエ 西根田 櫻田運蔵・リツ 芹沢 土濃塚勝太郎・ミエ 高谷惣之助・カチ土濃塚正夫・イマ 芹田文平・ヨシ 鎌沢 福田市郎・キエ 増沢 成田是二・ミサ 杉浦清助・ヤエ 奈良三蔵・キクエ

手を取りあつて元気に行進。秋晴れの下、気分が爽快。

鷹巣阿仁部環境衛生大会

美しい町づくり 健康づくりめざして 合川町健康まつり

第二十四回鷹巣阿仁部環境衛生大会が八月二十三日、合川中学校体育館で開かれました。この大会は、住み良いふるさとづくりのために、環境衛生の向上と健康づくり活動を活発にさせようと、毎年開かれていっているものです。

今年の大会は第四回町健康まつりとあわせて開催。はじめに環境衛生活動や健康づくりに努力された方を表彰しました。当町関係者は次のとおりです。

- △衛生優良地区 川井部落
- △衛生功労者・衛生優良施設 鈴木善雄（駅前）山喜旅館 駅前（松橋理容所）（三里）
- △保健衛生功労者 近藤ヌイ（李信）藤沢勢子（駅前）伊勢タケノ（八幡岱）成田陽子（李信）
- △地域保健功労者 松橋艶子（大内沢）鈴木ハル

- △健康管理功労事業所 合川中央ソーイング バンド
- △被服 伊勢組
- △農村地域保健活動賞 杉山田農協婦人部
- △各町代表が健康づくりや花いっぱい運動など、住み良いふるさとづくりをめざす多方面での活動ぶりを発表。畠山久子さん（木戸石）は当町の食生活指導員の熱心な活動ぶりを報告して感動を与えました。
- △国立秋田工業高等専門学校後藤美千男先生が「私たちを取りまく身近な環境問題」と題して講演。青年代表による「大会宣言」で幕を閉じました。
- 大会では、町婦人会員が減塩音頭を披露。上杉子供太鼓が元気いっぱいパチパチと見せて会場をわかせました。
- 標語コンクールの入選作品から五、六年生の作品を紹介しました。
- 町民九千、ゴミ九千 みんなで拾えばゼロになる
- 東小学校六年 松岡賢治
- 少しならと思う気持ちでゴミの山
- 東小学校六年 村形由香
- いつ見てもきれいな町 はこりをもてるわが郷土
- 西小学校六年 金田順子
- 散歩道 ゴミにも目をむけきれいな町を
- 西小学校六年 浪岡美希子
- 道ばたにゴミいっぱい きれいな花がなっているよ
- 西小学校六年 藤島信宏
- 町づくり 郷土を生かす「クリーンアップ」
- 南小学校六年 伊藤香織
- ゴミのない きれいな合川 すみよい郷土



「美しい町づくり標語」で入選した二十名の児童を表彰

下杉ことぶきクラブ

養鯉活動で県表彰

九月十一日に開かれた県敬老会で、下杉ことぶきクラブ（会長 後藤要助さん）が優良クラブとして表彰されました。

下杉ことぶきクラブでは「自分たちでできる仕事で、生きがいをつくらう」を合言葉に、部落共有林の手入れや鯉の養殖に取り組みしてきました。

部落共有林の手入れは二十戸アール（二反歩）を受け持ち、十年ほどの下刈りではさがが取れるほどに成長しました。

鯉の養殖は今年で五年目。今年は三百枚の幼魚を放流し、えさを与えています。毎年、部落の収穫祭に合わせて水揚げ。各家庭に配布するほか、一部は販売してクラブの活動資金にもあてています。

今回の受賞は、こうした地域と一体になった、生きがい活動が認められたもので、町内各ことぶきクラブの大きな励みになっています。



町のこよみ

行事予定

- 九月 月
- 20日 クリーンふるさとデー
- 21日 秋の交通安全運動 環境衛生週間
- 22日 定例町議会（予定）
- 23日 秋分の日
- 十月 月
- 10日 体育の日
- 25日 交通安全母の会総会 母の会（予定）

必ずつけよう バイクの自賠責

小さなバイクでも油断は禁物

バイクの事故も軽視できません。無保険で死傷事故を起こすと、加害者、被害者ともたいへんな不幸におちいります。

バイクにも自賠責保険への加入が法律で義務づけられています。無保険で走ると六ヶ月以下の懲役または五万円以下の罰金に処せられます。

ご注意を!! 「めがね石」

最近、新築住宅で「めがね石」の取り付けが不完全であったため、火災が発生しています。煙突部分の「めがね石」を「美感にあわない」などの理由で、取り付けない人がいます。しかし

県民手帳予約受付

昭和五十七年用秋田県民手帳の予約受付しています。

価格は三百円です。購入希望の方は、役場総務課に申し込みください。

(1) 一次試験 筆記試験（一般常識）昭和五十六年十月十五日の予定ですが、後日日時、会場等を応募者に通知します。

(2) 二次試験 作文・面接試験

七、採用決定
昭和五十六年十月三十一日（予定）

八、採用期日
昭和五十六年十二月一日（予定）

昭和五十六年九月十八日
北秋田郡合川町上杉字金沢二四〇 社会福祉法人秋田県民生協会 理事長 今井 篤
電話〇一八六七八一
三二八二

職員募集のお知らせ

総合福祉施設 大野台の里

- 総合福祉施設「大野台の里」では次のとおり職員を募集しています。
- 一、募集人員 指導員及び寮母・男子五名 女子二名 計七名
 - 二、応募資格 (1) 年齢十八歳以上三十五歳未満であること。 (2) 高等学校卒業以上の学歴で社会福祉施設生活指導員有資格者、または将来資格取得見込者
 - 三、応募方法 (1) 申込書（自筆のもの）健康診断書 用紙は応募先事務局のものを使用すること 期日までに郵送または自参すること
 - 四、試験期日及び試験科目 六、試験期日及び試験科目

カップ 歓声

水泳 大会

大会新記録が四つ

第十二回学童水泳大会は二十五日、東小学校プールで開かれました。昨日に続く「短い夏」で記録的にはさみしい大会でしたが、プールサイドは児童や父兄の応援でいっぱいでした。各種目の優勝者は次のとおりです。

百五十歳 メドレーリレー女子①南小学校 同男子①西小学校二



百歳自由型女子①松庭順子(西) 大会新 同男子①柴田博幸(東) 大会新 五十歳背泳五女子①森岡伸子(東) 同男子①武石大志(東) 同六年女子①三浦久美子(南) 同男子①岸田聖郎(南) 五十歳平泳五女子①成田真紀子(西) 同男子①伊藤香織(南) 同六年女子①伊藤香織(南) 同男子①佐藤理(西) 五十歳自由型五女子①三浦和歌子(南) ①成田麻子(西) 同男子①木村真(西) 同六年女子①松庭順子(西) 同男子①米倉千秋(東) 百歳背泳五女子①伊藤香織(南) 大会新 同男子①福岡真也(南) 百歳自由型五女子①三浦由香(南) 同男子①三浦浩幸(南) 二百歳リレー女子①西小学校同男子①西小学校

作業用の手押車

長寿 横綱 元気に田仕事に



羽根山 金田平吉さん

わが家のわたしの宝もの

町の長寿横綱一金田平吉さん。明治19年11月30日生まれ。まもなく95歳になります。今も田のくろ(あぜ)の草刈り、家のまわりの草とり、田の水の見回りなどにがんばっています。耳が少し遠いだけで、生活ぶりは若い人とほとんど変わりません。

「この車ツコを押して行けば、上大野までも、どこまでも歩いて行ける」と元気いっぱいです。手押し車は2台目。「若い時は魚取りが大好きで、水が出ると持ち網を持って走ったもんです。今でも、川が増水すると、「誰か持ち網をしていないかなあ?」と車を押して出かけると言います。「山歩きも好きで、きのこを近所の人に配り歩いて喜ばれたものです。時おり、近在の人たちが平吉さんに「穴場」をたずねに来るそうです。「今でもきのこがいっぱい、敷かさつて目に見えるのが目に写ります。山が変わってしまつて、どうなっているやら。」

「13歳で他に稼ぎにやらされました。馬の世話が大変だったのを覚えています。13歳ぐらいの子どもを見ると当時のことが思い浮かびます。平吉さんは働きものとして知られ、また、祭りや行事には欠かせない人であったといひます。「若い時から歌や踊りが大好きで1、2回聞けば、すぐに覚えることができました」と、こつから舞い、相撲の前口上など得意芸の一部を披露していただきました。若々しい声は、「若い時と同じ」と家族の皆さんも明るい表情。

肉が大好き。タバコは今も毎日10本程度。酒は若い時から口にしません。長生きのコツは「好ききらいせずに、規制正しい食事をする。少し短気なぐらいですが、サツパリした気性で明るくすごしていることでしょう。孫19人、ひこ孫9人。いつまでもお元気で。」

母と子の会話

生命の尊さを知る、生き物に対する思いやりの気持ち、芽生える——犬や猫など動物とつき合うことで、わたしたちの情操は豊かになっていきます。

とくに子供にとっては、動物とのつき合いを通じて誕生—成長—死という生命現象を目のあたりにすることができ、

動物愛護週間 9月20日~26日

家で飼う動物 心の豊かさを 育てるために

貴重な情操教育の一つとなります。世の中は動物が好きな人ばかりではありません。飼う。

ありますので、気をつけましょう。とくに犬を飼う場合には、

放し飼いにしない、運動させるときには必ず綱をつけて付き添うなど、他人に迷惑をかけるない飼育方法を心がけ、飼主

の不注意から他の人に迷惑をかけるないようにしましょう。五十三万一千五百六十——これは昭和五十五年度中に、全国の保健所などに引き取られた犬の数です。

これらのほとんどは、鳴き声がかかる、大きくなったら乱暴になった、などの理由で飼主から手放された犬たちです。

保健所などで犬や猫の引き取りを行うのは、捨て犬が野犬となり人に危害を加える恐れがあるため、その防止を図

つてのことです。犬の引き取りが本来の目的ではありません。引き取ってもらえるからといって、安易な気持ちで手放すのは止めましょう。

動物とつき合うことで、わたしたちは人間どうしの関係では得られない多くのことを学ぶことができます。ですから、つき合い始めたからには、だれからも祝福される長い「おつき合い」にしたいものです。

—今月のことは—

来年のことぶき大会は、新しくできる農村環境改善センターで開かれることでしょう。今日、ここに集まった人は、来年、新会場で必ず元気に顔を合わせましょう。

九月八日町ことぶき大会で、成田吉治町ことぶきクラブ連合会長



11

読書ノートを つくってみませんか

「読書の秋」をむかえます。農作業が忙しくなる季節でもありますが、「一日一読」——短かい時間でも親子で読書の時間をつくりたいものです。

読書のあとで「感想は?」とたずねると、とまどう子どもが多いはず。感動を、ことばで表わすのは、大人でもなかなか難しいことです。無理に感想を求めることは、読書にたいにたいがりがねえです。本は楽しい」と感じさせることが大切です。

読みつばなしがもの足りないように見受けられたら「読書ノート」をすすめてみてはどうでしょうか。感じたことをメモ程度にまとめて見ると、本の印象が強くなります。このノートをともに、感想文をまとめることもできます。親子で感じたことをメモし合えるような「読書ノート」の例をお知らせします。(六月二十七日・親子読書会から)

題名	作者名	出てくる人(主人公に○)	感じたこと	父母の感想
くろべのツンコぎつね	大割 輝明	○せいさく おやぎつね	おしまいまでいき読んでしまいました。人間と子ぎつねの間の愛情ややさしさはのほのとしたあたたかさをおぼえました。	いいお話でした。

(読書ノートの例)

善意のご寄付

(敬称略) 町社会福祉協議会へ

- 〔香典返しにかえて〕 笠井吉左門 上杉 佐藤長太郎 (故 母フミ) 小林一男 (故 弟長四郎) 藤島定美 木戸石(故 母フミ) 山崎一郎 上杉(故 母リツ) 安部倉太郎 増沢(故 母キエ) 加藤孝二 鎌沢(故 父宇吉) 宮野喜代三 駅前(故 父正信) 伊藤勇 杉山田(故 父常五郎) 松橋由市郎 道城(故 母リエ) 〔一般寄付〕 東京都国立市小百合幼稚園長 福田ことぶきクラブ 川上 豪
- 〔清掃具 寄贈〕 慶弔だより 8月届
- 〇おめでとうございます。 御所野 拓 勉 長男 鎌沢 佐藤正樹 正 長男 西根田 桜田倫久 仁 長男 東根田 斉藤佳子 伊久夫長女 新田目 村形厳征 正篤長男 川井
- おくりあげます。 笠井フミ 吉左門母 上杉 藤島リエ 定美 母 木戸石 山崎リツ 一郎 母 上杉 伊藤常五郎 61 本人 杉山田 安部キエ 86 倉太郎 母 増沢 宮野正信 74 本人 駅前